

帯広地区喀痰吸引等第3号研修報告

運営委員 富田 勝江

平成25年10月31日、日本ALS協会北海道支部主催の「介護職員等によるたんの吸引等実施のための（特定の者）基本研修」が開催されるようになり今年で7回目となりました。

令和4年9月17日、18日 帯広市民活動プラザ六中にて開催、協力機関として、刀圭会訪問看護ステーション向日葵、今回から総合相談支援センターにも協力いただきました。去年まではALSの担当のヘルパーさんが多く受講されていましたが、今年は医療的ケアが必要な重症児や脊髄損傷、多系統萎縮症、ALSに関わる介護員さん、保育士さん10名の受講があり、自宅で医療的ケアが必要な方々のために真剣に受講されていました。無事に全員合格いたしました。ホッとしました。まだまだ医療的ケアができるヘルパーさんが足りません。医療的ケアができるヘルパーが増えることにより、病気や事故で障害があっても、どこで誰と暮らすかの選択の幅が広がるということになります。ALS北海道支部西成田副支部長、運営委員の松田さんに協力してもらいながら、十勝で障害があっても安心して暮らしていけるよう活動を続けたいと思います。

